

1. 津波浸水想定区域外への避難について

【1班の意見】

避難中 ・ 自助	避難中 ・ 共助
モノレール江ノ島駅に向かって避難する。	間に合わなければ、スバナ通りのマンションへ避難する。
発災後 ・ 自助	発災後 ・ 共助
(第3波が到達を確認後) 目白山経由で自宅へ歩いて向かう。	被災者の町内会での支援。
平常時 ・ 自助	平常時 ・ 共助
防災グッズを準備。防災訓練に参加し、普段から情報共有する。	地域のマンションに避難の協力を得られるよう交渉しておく。防災啓蒙活動を日頃から行う。防災について片瀬山の自治会の活動を自身の町内会に共有する。

【4班の意見】

避難中 ・ 自助	避難中 ・ 共助
(片瀬橋が渡れる場合) 商店街周りで龍口寺へ、(片瀬橋が渡れない場合) 湘南白百合小学校へ。	観光客やインバウンドに声掛けし、安全な避難場所をアドバイス。
発災後 ・ 自助	発災後 ・ 共助
徒歩で自宅へ。自宅にて復興待機	自治会での活動をサポートする。
平常時 ・ 自助	平常時 ・ 共助
家族で有事の際の行動(例: 一時避難場所や連絡手段を取り決めておく)、非常持ち出し袋を人数比で整えておく。	近所同士で防災について意識を高め合う。防犯についても声を掛け合う。防災備品の整備について心掛ける。防災のプロやキーマンを中心に共助体制を確立していく。